

回 覧

梓川地区地域づくりセンターだより

号外
2023.12.1 発行

編集・発行 梓川地区地域づくりセンター 〒390-1792 松本市梓川梓 2288 番地 3
 電話(代表)0263-78-3000 FAX 0263-78-3942
 E-Mail azusagawa-s@city.matsumoto.lg.jp



松本市梓川・三重県御浜町 友好親善提携 30周年によせて

松本市梓川地区まちづくり協議会 会長 加藤 忠彦

11月12日の梓川文化祭「梓秋祭」の開会前に、御浜町・松本市梓川地区友好親善提携30周年記念セレモニーが梓川福祉センターで開催されました。1週間前の11月5日には御浜町でも記念セレモニーが開催され、田多井センター長、西牧公民館長ほか関係者とともに訪問し、記念品の「松本押絵雛」を贈呈してまいりました。御浜町からは、御浜の海を表現した伝統工芸品の「市木もめん」をいただきました。梓川支所の玄関ホールに展示してありますので、ぜひ、ご覧ください。

年中おいしいみかんのとれるまち御浜町と、天皇賞受賞の梓川のりんごをご縁として交流を始めたのが平成元年、その4年後の平成5年に友好親善提携を締結し、御浜町とは30余年の長きにわたるお付き合いということになります。

その間、平成の大合併を経て梓川村は松本市梓川地区となりましたが、変わらず交流を続けていただいていることは大変うれしいことであり、感謝以外の言葉が見つかりません。

文化祭には毎年お越しいただき、おいしい御浜のみかんはいつも飛ぶように売れてまいります。また、恒例の11月の学校給食では、松本市内の小中学校に御浜のみかんが、御浜町では梓川のりんごが提供されました。

さらに、子どもたちの体験交流事業では、雪の少ない御浜の子たちはスキーやそば打ち、海なし県の梓川の子たちは美しく澄んだ御浜の海を堪能するなど、お互いの異文化に触れて貴重な体験をするとともに、そこで育かれた友情は、心豊かな大人に成長するための大切な糧となっていると信じております。

それにしましても、30年という歳月は、私たちを取り巻く社会環境や、人々の価値観を大きく変えました。しかし、お互いの交流のきっかけとなった果樹の生産、いわば農業は、大地や自然の恵みがあってこそ豊かな収穫がもたらされます。そのことは時代がどのように変わろうとも変わりません。大地や自然への感謝を忘れずに、心豊かに暮らしていきたいと切に感じております。

結びに、今後も、御浜町との交流をさらに深め、末永く、次世代に引き継がれていくことを願い、双方の住民の皆様のご健勝を祈念して、友好親善提携30周年を迎えての挨拶とさせていただきます。

○ これまでのあゆみ

- 平成 元年 三重県御浜町のみかんと
梓川村のりんごを通じて、
住民・議会・行政の交流が始まる。
- 平成 5年 友好親善提携の締結
- 平成 8年 災害時応援協定を締結
- 平成15年 10周年記念行事の開催
- 平成17年 梓川村が松本市に合併。
災害時応援協定は松本市が継承し、
引続き交流事業の継続を確認
- 平成19年 古川御浜町長が菅谷松本市長を表敬訪問(H19.10.29)
その席上、引き続き友好関係を深めていくことを確認
- 平成20年 三重県御浜町町制施行50周年記念式典への参加
- 平成21年 小中学校の学校給食交流事業開始
- 平成25年 20周年記念行事の開催
- 令和 5年 友好親善提携30周年 記念行事の開催



今年の文化祭の御浜町コーナー



「市木もめん」
梓川支所の玄関ホールに展示



「松本押絵雛」

～現在 小学生のふれあい交流事業、
物産展等のイベント相互訪問
学校給食交流事業を継続中

御浜町での
セレモニー



小学生のふれあい交流事業
御浜町の子もたちと